

発行日 平成29年5月11日
 http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



5月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	8	9	10	⑪	12	13
14	15	⑬	17	18	19	20
21	⑳	23	24	25	㉒	27
28	29	30	31			

○ 漁海況 □ 漁況

○対馬暖流は本県沖で沖側に大きく蛇行しています
 (日本海沿岸定線観測結果 5月分)
○ウスマバルの資源状況について

小 泊 (5月6~10日)

ヤリイカ	定置網	29隻	1,538.3kg
(1,656.3kg)	棒受網	5隻	118.0kg
ウスマバル	釣り	29隻	323.0kg

下 前 (5月1~5日)

ヤリイカ	定置網	10隻	985.3kg
(2,599.8kg)	棒受網	11隻	1,614.5kg
ウスマバル	釣り	3隻	33.8kg

鯨ヶ沢 (5月1~10日)
とりまとめ中

大 戸 瀬 (5月6~10日)
とりまとめ中

平 館 (3月21~5月10日)
とりまとめ中

三 厩 (5月6~10日)

ヤリイカ	定置網	18隻	115.1kg
ウスマバル	釣り	5隻	51.0kg
アブラツノザメ	延縄	6隻	2,000.0kg

佐 井 (5月1~10日)
とりまとめ中

深 浦 (5月1~5日)

ヤリイカ	底建網	1隻	1.0kg
(9.5kg)	底曳網	1隻	8.5kg
マダイ	定置網	3隻	740.1kg
(782.5kg)	底建網	3隻	17.5kg
	刺網	2隻	24.9kg
ブリ	定置網	4隻	1,995.9kg
(2,027.2kg)	底建網	3隻	31.3kg
ウスマバル	釣り	14隻	396.4kg
(401.0kg)	底曳網	2隻	4.6kg
マダラ	定置網	2隻	22.5kg
(61.1kg)	底曳網	2隻	38.6kg
サバ類	底建網	1隻	8.8kg
サクラマス	定置網	3隻	11.9kg
(27.3kg)	底建網	1隻	15.4kg

大 畑 (5月6~10日)

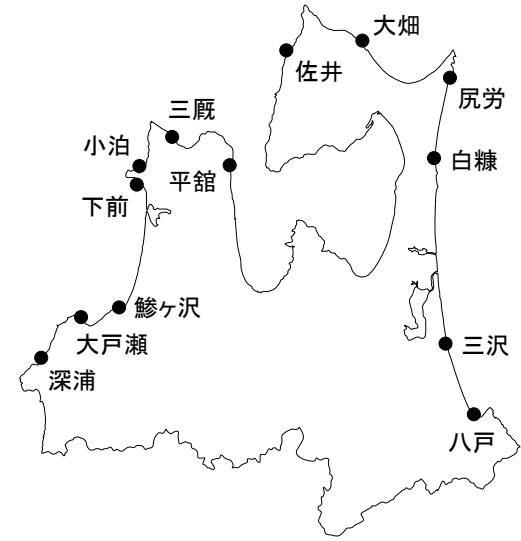
ヤリイカ	定置網	15隻	1,622.3kg
(1,634.9kg)	底建網	3隻	12.6kg
マダイ	定置網	3隻	2.7kg
(7.7kg)	底建網	2隻	5.0kg
ブリ	釣り	1隻	2.7kg
(757.3kg)	定置網	15隻	746.5kg
	底建網	1隻	8.1kg
ウスマバル	底建網	7隻	3.8kg
(11.0kg)	籠	2隻	7.2kg
マイワシ	定置網	1隻	5.0kg
サクラマス	釣り	1隻	1.3kg
(426.4kg)	定置網	15隻	425.1kg

尻 労 (5月6~10日)

ヤリイカ	定置網	5隻	1,301.0kg
(2,355.0kg)	底建網	16隻	1,054.0kg
ウスマバル	底建網	18隻	4,213.0kg
サクラマス	定置網	10隻	356.0kg

白 糠 (5月6~10日)

イカナゴ	棒受網	3隻	559.0kg
------	-----	----	---------



三 沢 (4月26~30日)

マダラ	刺網	1隻	8.7kg
			(5月1~5日)
マダラ	定置網	1隻	6.8kg
			(5月6~10日)
マダラ	定置網	4隻	50.0kg
サクラマス	定置網	4隻	182.9kg

八 戸 (5月6~10日)

スルメイカ	底曳網	16隻	1,827.0kg
マダラ	底曳網	16隻	4,744.0kg

○大畑(津軽海峡側)の定置網、底建網によるヤリイカの漁獲状況
 4月末までの津軽海峡側(大畑)における定置網、底建網によるヤリイカの漁獲は62.2トンで、前年同期の118.1トン、前々年同期の84.6トンには及ばないものの、過去5か年平均比の121%となっています。

○日本海の定置網、底建網によるブリは出足好調
 4月末までの日本海側(大戸瀬、深浦)における定置網、底建網によるブリの漁獲は113.3トンで、前年同期と比較して大戸瀬で6.6倍、深浦で5.5倍と好調な漁獲となっています。これは過去5か年で最も多い漁獲で、5か年平均比でも大戸瀬で11.4倍、深浦で5.1倍となっています。

沿岸各地の水温 (5月6日～10日)

日本海 12℃～13℃台 津軽海峡 11℃～12℃台
陸奥湾 10℃～12℃台 太平洋 10℃～11℃台

今回は平均前回差が+0.6度となりました。前年と比べると、日本海が+0.4度、津軽海峡が-0.3度、陸奥湾が+0.3度、太平洋が-0.1度となり、平均前年差は+0.1度となりました。すべての地点で平年を上まわっており、全海域で「やや高め」となっています。

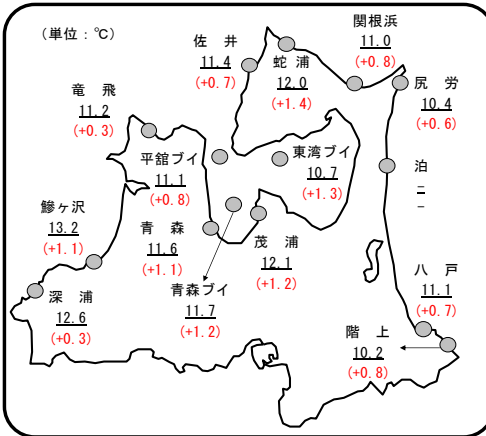


図 定地水温(5月6日～10日) 平均值(平年差)ブイは1m

ウスマバルの資源状況について

青森県におけるウスマバルの漁獲量は2011年以降減少し、現在低位の状態にあります(図1)。資源量推定の結果、資源尾数は2008年以降減少していましたが2016年に増加しました(図2)。2016年に増加した2歳魚は、今年3歳魚(体重150g程度)として漁獲対象となりますが、持続的利用を図るため、3歳魚をできるだけ獲り控え、大きく成長させてから漁獲しましょう。

(資源管理部 伊藤欣吾)

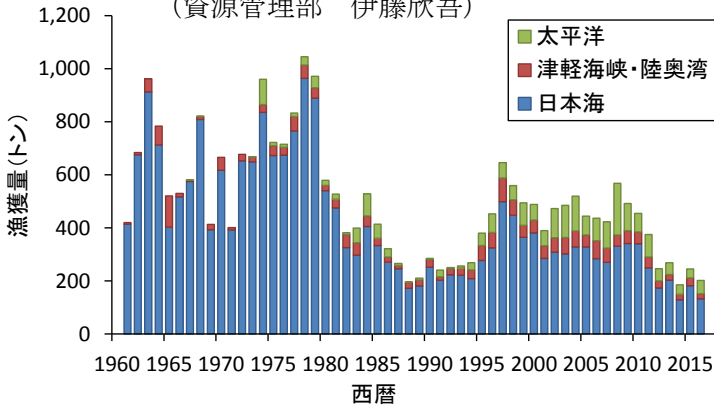


図1 青森県におけるウスマバルの海域別漁獲量の推移

表 沿岸各地の水温 (5月6～10日) (単位:℃)

海域	地点	水温	前回差	前年差	平年差
日本海	深浦	12.6	+0.2	-0.2	+0.3
	鰐ヶ沢	13.2	+1.0	+1.0	+1.1
	平均	12.9	+0.6	+0.4	+0.7
津軽海峡	竜飛	11.2	+1.2	+0.0	+0.3
	佐井	11.4	+0.5	-0.1	+0.7
	蛇浦	12.0	+1.5	-0.6	+1.4
	関根浜	11.0	+0.4	-0.4	+0.8
	平均	11.4	+0.9	-0.3	+0.8
陸奥湾	青森	11.6	+0.6	+0.6	+1.1
	茂浦	12.1	+0.5	-0.2	+1.2
	平館ブイ	11.1	+0.6	-0.1	+0.8
	青森ブイ	11.7	+0.4	+0.9	+1.2
	東湾ブイ	10.7	+0.5	+0.5	+1.3
平均	11.4	+0.5	+0.3	+1.1	
太平洋	尻労	10.4	-0.2	+0.4	+0.6
	泊	-	-	-	-
	八戸	11.1	+0.8	-0.3	+0.7
	階上	10.2	+0.5	-0.4	+0.8
平均	10.6	+0.4	-0.1	+0.7	
全体平均	11.4	+0.6	+0.1	+0.9	

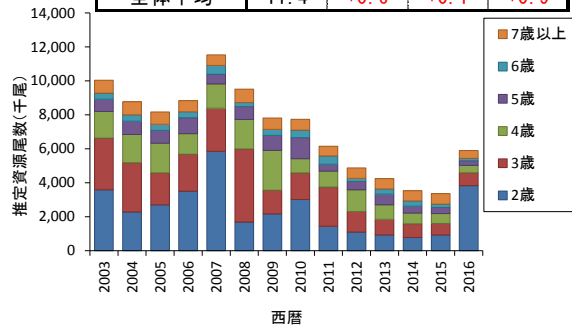


図2 青森県におけるウスマバルの推定資源尾数の推移

日本海沿岸定線観測結果(5月分)

試験船青鵬丸により5月9日から10日にかけて日本海沿岸定線観測を行いました。結果は下表のとおりで、各層最高水温は0m層ではなほ高く、50m層及び100m層でやや高めとなりました。対馬暖流は本県沖で沖側に大きく蛇行しており、流幅はなほ広くなりましたが、北上流量はマイナスの値となりました。

対馬暖流の勢力としてはやや強めとなっています。

対馬暖流流勢指標 5月

観測項目	5月9～10日 青鵬丸					平年差	平年比	
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年			
各層最高水温(℃)	0m	11.8	14.2	13.8	12.4	14.5	+2.5	+206
	50m	9.50	10.56	10.99	11.03	10.94	+0.70	+83
	100m	9.77	9.64	10.26	10.48	10.23	+0.88	+102
流幅(マイル)	船作線	27.8	40.7	42.8	69.2	69<	31<	+251<
	十三線	54.6	80.1	41.8	42.2	90<	38<	+279<
水塊深度(m)	192	208	217	200	177	-13	-35	
北上流量(10 ⁶ m ³ /s)	2.83	2.98	3.18	0.87	-0.46	-2.78	-435	

太平洋の海況 (5月7日～8日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は9～10℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

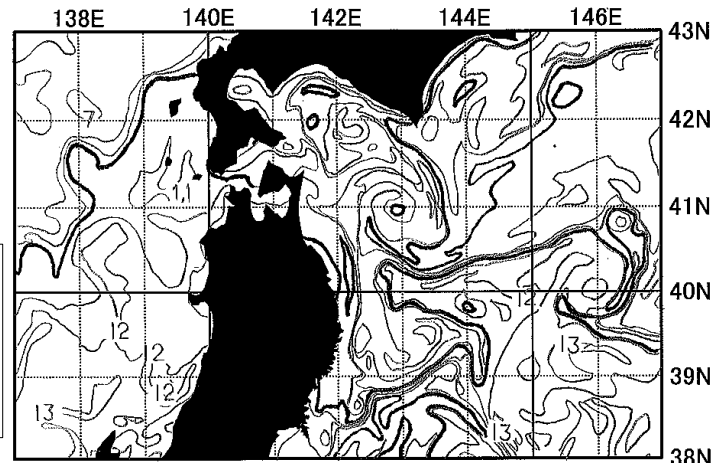
前回と比べて変わっていません。これは前年同期と比べわずかに低い水温です。

日本海の場合 (5月7日～8日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は10～11℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べて1度ほど昇温しています。これは前年同期と比べ1度ほど低い水温です。



資料: (一社) 漁業情報サービスセンター 北部太平洋海況速報 第10号 5月9日発行